

季節の花を用いた大型空間ディスプレイの制作

フラワーファクトリ科

3年 草花A班

1、目的

近年花業界で求められる人材はフラワー装飾に関する技術を幅広く持っていることであり、従来の西洋から伝わったフラワーアレンジメントの知識や技術だけでなく、日本古来より継承されてきた華道の技術を持っていることが有効である。本研究では、長年花業界に携わってきた専門家の方から講義および指導を受け、実際に制作することを通して広い空間を飾る大型ディスプレイの制作技術を身につけることを目的としており、1年時より3年間継続して実施している内容である。

2、実施内容

回数	実施時期	実習内容	場所	制作単位
1	平成3年度 秋	剣山方式	本校 農業管理棟	個人
2	令和4年度 秋	投げ入れ方式	本校 農業管理棟	個人
3	令和4年度 冬	投げ入れ方式（大作）	本校 玄関ホール	1～2名 1組
4	令和5年度 春	入学式の舞台装飾	本校 体育館	1～2名 1組
5	令和5年度 春	投げ入れ方式	池田城跡公園本校	個人
6	令和5年度 秋	投げ入れ方式（大作）	農業管理棟	1～2名 1組
7	令和5年度 冬	投げ入れ方式（大作）	本校 玄関ホール	1～2名 1組

3、作品写真

令和5年4月10日 本校入学式



令和5年6月10日 池田城跡公園



令和6年1月25日 本校玄関ホール



4、感想（一部抜粋）

- ・2年生の頃は作品を小さく作りがちであったけど、授業を通して大きい作品が作れるようになった。
- ・大きな枝物や花材を扱うのは難しく花瓶に思うように入らずに苦戦した。しかし3年間の実習を通して最後にはしっかりと形になり、納得のいく作品に仕上げることができるようになり満足している。
- ・投げ入れはまだまだ得意ではないが3年間でかなり技術が身についた。卒業式の装飾は本当に最後なので、今までで一番といえるような作品を作りたい。